

## みんなで育てよう、三芳の子どもたち



**三芳町次世代育成支援行動計画**  
地域の住民が子どもたちを見守り、積極的に連携して子育てにかかわっていく、子育てをしやすいまちづくりを、平成22～26年度までの5年間に町が進めていく計画です。下記のように施策を決めて、子育てしやすいまちづくりをめざしています。

### 重要施策

1. 地域における子育て支援サービスの充実
2. 児童虐待防止の充実
3. 障がい児や発達の違いのある子どもへの支援充実
4. 保育サービスの充実
5. ワーク・ライフ・バランスの推進

### 評価指標

この計画の達成度をはかる評価指標を定め、この目標を達成できるように、事業を着実に進めていきます。

#### 計画全体の評価指標

指標項目	現状	目標
三芳町内での子育てに満足している保護者の割合	就学前児童 <b>66.3%</b>	<b>70%</b>

**目標設定の考え方** 保護者のおおむね3人に2人が満足する状態

#### 子育て環境の評価指標

指標項目	現状	目標
地域からの子育て支援が受けやすいと思う保護者の割合	就学前児童 <b>39.6%</b>	<b>70%</b>

**目標設定の考え方** 保護者のおおむね3人に2人が満足する状態



イベントたくさん！  
児童館と支援センター  
ぜひ動画で様子を  
ご覧ください。



**初めの勇気が親子の笑顔につながる**  
支援センターを利用したくても、初対面の人と話をするのが苦手な人や、子どもが人見知りをするので泣いてしま、周りに迷惑をかけてしまうのではないかと不安になる人も少なくありません。しかし、初めて参加する人には職員が全員に紹介をし、ほかの参加者の輪に入りやすいように積極的に声掛けを行い、馴染みやすいようにして

**親子でふれあう憩いの場**  
「はじまるよつたら はじまるよ」藤久保児童館2階から子どもたちと保護者の楽しそうな声が聞こえてきました。地域全体で子育てを支援する基盤の形成を図るために、地域の子育て家庭に対する育児支援を行う「子育て支援センター」。藤久保児童館2階で活動しています。ここでは0から5歳児とその保護者



各イベント情報は「子ども通信」で  
広報みよしでは毎号「子ども通信」欄でイベント情報を掲載しています。どのようなイベントが行われたのかもレポートを行い、その模様を動画でも配信しています。  
子育て支援センターも、児童館も気軽に利用することができますので、ぜひ活用ください。

**町内の3つの児童館**  
三芳町には藤久保・北永井・竹間沢の3つの児童館があります。実は0歳から18歳まで利用することができます。「あそびの部屋」など、親子で遊ぶことができるイベントを各児童館が企画し、毎回多くの参加者ににぎわいます。その利用者数はなんと年間延べ約6万2千人。地域になくはならない存在です。

**育児雑誌よりも身近な子育て情報**  
同じ月齢の子どもを持つパパ・ママが集まる場所だからこそ、共感できることがあるはず。子育ての悩みや苦しみ、そして喜びを分かちあうことで少しでも気持ちが楽になります。地域の話題などは育児雑誌では得ることができない身近な情報です。

が自由にイベントに参加することができます。お部屋で自由に遊び、絵本の読み聞かせ、歌や手遊び、ふれあい遊びが行われます。  
イベントのひとつ「おでかけなかよし広場」。月に一度行われているこのイベントでは、室内から出て運動会やシャボン玉遊びなどを行い、毎回多くの親子が集まります。  
また、子どもを遊ばせているときに、支援センター職員が子育てや家族の悩みなどの相談に応じる「ひだまり」を

## 子育て支援センター・児童館 親子の憩いの場

0歳から親子で参加することができるイベントを、子育て支援センターや児童館で行っています。参加者は同じ月齢の子どもを持つ保護者。だからこそ共感できることがたくさんあります。

### 児童館で地域の垣根をこえた仲間づくりができます。

空き地が昔にくらべ少なくなり、子どもが遊ぶ場所も限られているなか、児童館は、地域の垣根をこえた仲間づくりができる場として、3児童館合わせて年間延べ約6万2千人が利用をしています。私がある北永井児童館は昭和60年に建てられました。小さいころに世話をしていた子どもが大人となり、自分の子どもを連れて遊びに来てくれることがあります。「あの〇〇ちゃんがこんなに大きくなったんだ」と感慨深い気持ちになります。地域交流づくりや、少し悩みを相談したいときなど、気軽に児童館を利用してください。 ☎ 北永井児童館 ☎ 049-258-9962

**PROFILE**  
**田中 博美**  
現・児童館長。学童・児童館などで36年勤務。児童館を利用していた子どもたちが自主的に、地域のために「ミヨレンジャー」を結成したことが印象に残っている。

### 子育てには正解はありません。悩みの8割はみんな一緒です。

子育て支援センターに参加する人たちがママ友ができたり、身近な子育て情報を交換しあう光景をよく目にします。保育所や幼稚園に通っていない子どもが、イベントを通じて友達になったりすることも魅力の一つだと思います。悩みや相談を受けますが、その8割は同じ内容です。「自分だけじゃない、みんな同じ悩みを持っているんだ」と、他の参加者と交流し、共感することで肩の力が抜けます。そうした地域交流のきっかけづくりの場として、より多くの人に子育て支援センターを利用してほしいと思います。 ☎ 子育て支援センター ☎ 049-258-5106

**PROFILE**  
**杉山 道子**  
先日まで赴任していた子育て支援センター所長をはじめ、保育士として35年間、三芳町の子どもたちの成長を見届けてきた。現：みどり学園長。